

豊中市教育委員会・豊中市国際教育推進協議会

Toyonaka City Board of Education / Toyonaka City Global Education Promotion Council

豊中型国際教育推進の経緯

The Development of Toyonaka Style Global Education

平成18年度(2006年度)~20年度(2008年度)

豊中型国際教育の提案

Proposal of Toyonaka Style Global Education

- 名で All Vating future leaders of regional and a line matters of regional and a line matters of regional and a line with a line and a line with a line
- 3、 異文化を背景に持つ子どもたちが尊重される地域 Crossin Toyona

Creating the community where children with diverse cultural backgrounds are respected

平成21年度(2009年度)~22年度(2010年度)

豊中型国際教育の実践とネットワークづくり

Implementation of Toyonaka Style Global Education and Networking

平成23年度(2011年度)~

豊中型国際教育の可視化と普遍化

Clarification and Application of Toyonaka Style Global Education

平成24年度(2012年度)~

豊中型国際教育で取り組みたい 持続可能な社会づくりと次世代の担い手育成

Establishing a Sustainable Society and Cultivating the Next Generation's Leaders which Toyonaka Style Global Education aims for

平成25年度(2013年度)~

豊中型国際教育でつながる世界 創ろう未来

Connect the World and Create the Future with Toyonaka Style Global Education

 ●豊中市国際教育フォーラム「3か国こども会議」開催 H26.2.8(土)大阪大学豊中キャンパス 基礎工学国際棟∑(シグマ)ホール 「グローバル社会で生きていく力の素地となる、コミュニケーション 能力や共生の資質等の育成を図る一環として、国内外の学校 間で、環境問題を共通テーマに協働学習にチャレンジ。」

- ■学識経験者
- ■環境政策室
- ■豊中市立幼稚園
- 国際教育推進中核校
- (公財)とよなか国際交流協会
- 豊中市立小中学校教育研究会 (多文化共生と在日朝鮮人教育/ 帰国児童生徒教育・国際教育)
- ■豊中市在日外国人教育推進協議会
 - ■豊中市教育委員会

ESDで育てたい生きる力

'Power of Living' raised by ESD

豊中市国際教育推進協議会

未来の担い手育成

つながる世界 創るう未来 [

フレンドシップ協働学習

Friendship Collaborative Learning Program



Cultivating the Creators of the Future

3か国こども会議 Three-country Kids' Conference

■ 協働学習 [環境問題]の概要

Outline of the Collaborative Learning Program [Environmental Problems]

国 Country・市 City 学校名 School name

学習テーマ Research Theme

大韓民国 Republic of Korea 安養市 Anyang city

虎元 (ホウォン) 初等学校 Howon Elementary School 学年 Grade

[5年生 5th 11yrs] カテゴリ:ごみ問題 Garbage 4種の食品を使った生ゴミの減らし方(食物の分解) Which ingredient can decompose food waste more effectively?

♦ Key points:

- ・重層が水と悪臭の両方を減らすことができる。
- ・あひるのえさとしてリサイクル

Baking soda reduces smell and water.

◆今後について Suggestions for the next step: 生ゴミを出さない+出たゴミの分解+校内での循環! Reduce food waste + Decompose food waste +



New Zealand ニュージーランド Dunedin ダニーデン

Anderson's Bay School アンダーソンズベイスクール 学年 Grade[10yrs] カテゴリ:食糧問題 Food

宮城県 Miyagi Prefecture

気仙沼市 Kesen-numa city

学年 Grade

学年 Grade

Council 14 yrs]

Council 14vrs 1

中学

Matsuiwa Junior High School

[生 徒 会 Board of Student

カテゴリ:ごみ問題 Garbage

大阪府 Osaka Prefecture

第二中学校

「生徒会 Board of Student

カテゴリ:エネルギー Energy

Dai-ni Junior High School

豊中市 Toyonaka City

持続可能性と食糧問題

Recycled in School

持続可能なリデュース・リユース・リサイクル Sustainability and Food Sustainability- Reduce, Reuse and Recycle.

♦ Key-points:

- ・人間による環境への影響を減らす。
- ・持ちこたえる力 ・環境の長期的な維持
- ・鶏の飼育法

Reducing, Endure, Maintenance

The school's efforts are mainly in the school garden, such as keeping school hens

◆今後について Suggestions for the next step:

いかに改善し発展させることができるか! Considering how to develop their activities

各家庭のゴミと市全体の比較と震災がれきの展望 Household and city-wide garbage comparison; earthquake rubble perspectives

♦ Key-points:

- ・ゴミの分別は必要
- ・ゴミ処理に多くの費用がかかる。
- ・学校全体で取り組めるような方策

Research on household garbage and earthquake rubble/ Challenges in processing garbage

◆今後について Suggestions for the next step: 具体的な方策を検討、そして実行に期待!

Planning and promoting activities based on their findings

フィフティ・フィフティ制度の有効活用について Beneficial use of the Fifty-fifty System

- ◆ Key-points:

 · 「光熱水費還元制度フィフティ・フィフティ」への取組み
- ・生徒一人ひとりの意識を変える。
- ・フィフティ・フィフティの取組みと生活目標との関連 Energy use reduction efforts / Increase awareness / Activity linking with their school mottoes
- ◆今後について Suggestions for the next step:
 フィフティ・フィフティの取組みの継続とさらなる発展に期待!
 Continuation and further advancement of their activities



Earthquake rubble prospects



74フライ・フィフティの学習を今後の活動へ。 Despetite our knowledge of the filty the season (it all the based is the season of country to the factor is the filty of th









D in School Curriculum 虎元(ホウォン)小等学校 李寶鈴(イボリョン)校長 Principal Lee Bo Ryeong of Howon Elementary School



ESDの観点をもっと教育課程に!

Towards the Enhancement of ESD in School Curriculum

3か国こども会議は研究の 積重ねのうえにあるもの

園田学園女子大学 堀田博史 教授 Professor Hiroshi Hotta of Sonoda Women's University

1 引き続き子どもと地域、自治体での連携、交流、共有2 立ち止まり何が変化したのかを検証

子どもの意見を受け、大人が発展させていく 自治体から国等への働きかけ等

3 新たにクロスオーバーした取組みの展開と共有





3

ESD実践ガイドの充実

つながる世界

創るう未来Ⅱ

日本語指導システムづくり

Development of Systems for Japanese Language Education

Enrichment of ESD Practical Guide

持続発展教育(ESD)を未来へ・・・ ESD for the Future

人や社会が持続的に発展して未来を開いていくために、豊中市は「つどう」、「つながる」、「つちかう」、そして「未来への行動力」をテーマに国際教育を進めています。UNESCOは、このような学びを次のように表現しています。

Learning to know 知ることを学ぶ

Learning to do なすことを学ぶ

Learning to live together ともに生きることを学ぶ

Learning to be 生きることを学ぶ

ESD: Education for Sustainable Development (持続発展教育)

私たちは、地球市民としてこれらの課題に向き合い、地球上に住む総ての人、そこから続く次世代の人、さらに続く未来の人が、平和で安心して暮らせる社会であるよう、「持続可能な社会の構築」にむけ、取り組むことが強く求められています。

ESDは、持続可能な社会をつくっていく、次世代の担い手を育てる教育の重要な柱です。国際社会のなかでは、目の前の子どもたちが、持続可能な社会づくりの主役となり、地球上の人々とつながり、同じ目的に向かって知恵を出し合うことが必要となります。そのためのコミュニケーション力等、資質の育成は、国際舞台で生き抜いていくうえで欠くことができません。

各教科等教育活動すべてにおいて、大人と子どもが、未来について一緒に考え、よりよく行動できるよう知恵を出し合えば、子どもたちは未来の担い手として自ずと将来何をしたいのか自覚していくでしょう。「習得」した知識・技能を「活用」していく過程にESDを取り入れ、「探求」する力を育てることがまさに「生きる力」となっていくはずです。

※ESD実践ガイド冒頭挨拶文から引用

豊中市国際教育推進協議会では、平成23年度からESDを実践するためのガイドブックを作成し、「とよなかスクールネット」で配信しています。ガイドブックは、毎年、各学校での実践やカリキュラムを集め更新し充実を図っています。

日本語に課題のある子どもを支援するためのネットワークづくり Networking to support the JSL children

きめ細かな指導の充実のためには、日本語に課題のある子どもたちを把握することから始まります。 日本語に課題のある児童生徒の実態調査(上野小学校、桜井谷小学校で先行実施)

人権教育室

Human Rights Education Office

祭教育推進協議会

Promotion Council

とよなか国際交流協会

とよなかJSL

Association for Toyonaka Multicultural Symbiosis JSL Toyonaka

【放課後指導·実態調査協力等】

After-school classes・Cooperating for the survey on actual conditions 各学校においては、日本語につまずく子 どもたちのために、放課後に指導したり、教職員向けに実態調査を実施したりしています。

学校·教職員 Schools Teaching staff

【帰国教室】Returnee Classes 海外で育んだ「多文化を学ぶ力」を日本 での生活に活かしながら、国際的な視野 と行動力を伸ばしています。

【日本語指導実務担当者会】

Working group of Japanese Language Education 豊中の子どもたちの日本語指導について、研究をつづけています。 今年度は、実態調査のあり方について議論をしてきました。

(【国際教

International Classes 学校での学習、友だち関係などの「つますき」、それらを多文化にルーツを持つ 仲間と共に学び合う。そんな支えあえる 国際教室をめざしています。

渡日児童 生徒相談室

Consultation Room for Foreign Children/Students

【オブザーバーとの連携】

Cooperation with Observers 学識経験者の方に意見を求めることがあ ります。

【とよなかこども日本語教室】

Toyonaka Kodomo Japanese Class (協働事業:豊中市子ども日本語プロジェクト) 日本語学習をしたい子どものため に週3回、とよなか国際交流センターで 教室を開いています。

Friendship school提携校

日本国内

気仙沼市立松岩中学校

豊中市立第二中学校

韓国

巨済市立菊山初等学校 & 豊中市立上野小学校 安養市立虎元初等学校 & 豊中市立新田南小学校

- 環境教育 ESD for the Future
- ・遺産学習等 World Heritage Education

- · 防災教育 Disaster Education
- ・環境教育

- ・防災教育
- ・環境教育
- ・英語 English

Parkside Elementary School & 豊中 市立上野小学校

Borel Middle School & 豊中 市立第九中学校

North Shoreview Montessori School & 豊中 市立南丘小学校

USA San Mateo サンマティオ市

NZ 南島クライストチャーチ近郊

North Loburn School & 豊中市立桜井谷小学校 Ohoka School & 豊中市立新田小学校 Kaiapoi Borough School & 豊中市立第二中学校 Clarkville School & 豊中市立東泉丘小学校 * Dunedin Anderson's Bay School

- ・姉妹都市交流 Friendship exchange between the sister cities ・作品交流 Exchange of arts and crafts works ・英語で文化紹介
- Exchange of arts and crafts works ・英語で文化紹介 Introducing cultures in English

セーフティネットづくり

Setting up Safety Nets

異文化を背景に持つ子どもたちの支援

Support for children with different cultural backgrounds

- ◆(公財)とよなか国際交流協会
 - 外国にルーツを持つ人の居場所づくり 「こども母語・サンプレイス」「多文化フェスティバル」等
- ◆豊中市在日外国人教育推進協議会

韓国・朝鮮ことばとあそびのつどい等

- ◆市教研「多文化共生と在日朝鮮人教育研究会」 ハギハッキョ・ハギハッキョキャンプ
- ◆豊中市立上野小学校

うえのワールドミュージアム